

H369.5
5.8(13)

日语注释文选

北京出版社

13



日语注释文选

第十三辑

《日语注释文选》编辑组 编

夏玉芝等 注释

*

北 京 出 版 社 出 版

(北京崇文门外东兴隆街 51 号)

新华书店北京发行所发行

北 京 印 刷 一 厂 印 刷

*

787×1092 毫米 32 开本 5.5 印张

1983 年 5 月第 1 版 1983 年 5 月第 1 次印刷

印数 1—15,000

书号: 9071·101 定价: 0.45 元

289267

目 录

一	一方交通の文化	1
	附参考译文：来而无往的文化	
二	言葉の変化	13
	附参考译文：词汇的变化	
三	冬の楽しみ	26
	附参考译文：冬季的乐趣	
四	日本人とニッポン人	55
	附参考译文：日本人和「ニッポン人」	
五	「こそあど言葉」の使い方	43
六	盆と正月	47
	附参考译文：中元节和新年	
七	空中ブランコ乗りのキキ	56
	附参考译文：空中飞人奇奇	
八	遠足の下相談	74

附参考译文：商量郊游

九 日本の文字 81

附参考译文：日本的文字

十 みつばちの生活 89

附参考译文：蜜蜂的生活

十一 「ねこ」という言葉 99

附参考译文：漫谈「猫」这个词

十二 天気図のはじまり 108

附参考译文：天气图的产生

十三 人間とチンパンジー 117

附参考译文：人和黑猩猩

十四 日本人の一生 連載Ⅴ 132

附参考译文：日本人的一生

十五 留学生の会話 連載Ⅴ 155

附参考译文：留学生会话

一方交通の文化^①

神田の本屋街^②を^③歩いていて目にし^④たことである。ある^⑤本屋の前を通りかか
る^⑥と、ショーウィンドーに新刊書^⑦が発行順^⑧に日を追^⑨つて^⑩並^⑪べてあつた。そ
れを見ると、少ない日でも二十冊程度、多い日には五十冊近い^⑫新刊書^⑬が発行されて
いる。新刊書がすべて^⑭陳列^⑮されているわけではなからう^⑯から、実際にはもつと^⑰
多くの本が毎日発行されていることになる。同じ本が、少なくとも^⑱数百部、多
ければ何千部、何万部と^⑲印刷^⑳されるのだから、その数はおびただしい^㉑量^㉒に昇る。
このことは、学生・一般の社会人から専門の学者に至るまで、いかに読書を好む
か^㉓、より正確に言えば^㉔、書物を通じて^㉕得た知識や情報をいかに大切に^㉖して
いるか、ということを示す^㉗ものである。しかも、ここで注目しなければならぬ^㉘の
は^㉙、おびただしい量の出版物の中で、翻訳書^㉚がかなりの割合^㉛を占めているとい
うことである。これは外国の——特に欧米の——学問・文化などに対する並々なら
ぬ^㉜関心の深さ^㉝を物語る^㉞ものである。

ここで思い出される②⑦のものが、日本文化を「一方交通の文化」と評した言葉である。

明治維新②⑧以後、西欧の文献の積極的な②⑨翻訳活動が始まり、学問の世界を初めとして③⑩、文学の世界その他③⑪で、その成果が多くの人々に受け入れられていった③⑫。そして③⑬、西欧の社会で百年、百五十年の年月をかけて③⑭達成した近代科学の成果も、日本ではわずか半世紀も立たぬうちに③⑮見事に吸収してしまつた③⑯。学問の多くの分野で、またたく間③⑰にその水準が欧米のそれ③⑱に到達し、あるいは③⑲、近づいていった④⑰のである。

かかる④⑰急速な進歩が可能であつた背後には、それなりの下地④⑱があつたことは確かである。江戸時代④⑲、国学④⑳の分野において④㉑も、既に数々の業績が見られ④㉒た。中でも④㉓、宣長④㉔の「右事記伝」④㉕などは、その方法において、現代の科学的な方法にいささか④㉖の遜色もないものであつた。また、西欧の近代科学も、長崎を窓口④㉗に④㉘、細々ながら④㉙もオランダから輸入され続け④㉚ていた。これに加えて④㉛、「読み・書き・そろばん④㉜」という言葉で端的に④㉝示される庶民教育の普及も見逃せない④㉞。

こうした^{⑤③}下地は無視し得ない^{⑤④}とは言うものの^{⑥⑤}、明治以後^{⑥⑥}の学問の進展は驚異的なものであった。そして、ある分野では既に世界の最高水準に達しさえ^{⑥⑦}している。だが^{⑥⑧}、現在でもなお^{⑥⑨}、かつて掲げた^{⑥⑩}「追いつき追い越せ^{⑥⑪}」のスローガンが、我々の意識の一部に根強く生き残っているのである。学問に限らず^{⑥⑫}多くの分野で、西欧いや欧米^{⑥⑬}の動向に絶えず目を向け^{⑥⑭}、それ^{⑥⑮}に遅れをとるまいとする^{⑥⑯}姿勢をとり続けているようだ^{⑥⑰}。この、何事によらず^{⑥⑱}新しい情報は細大漏らさず^{⑥⑲}吸収しようとする^{⑥⑳}意欲が、翻訳書の氾濫という現象となつて現れているとみてよい^{⑦①}。

欧米の学問・文化を吸収することにのみ^{⑦②}追われる^{⑦③}受け身^{⑦④}の姿勢は、その反面において自国の学問の成果を積極的に海外に広めよう^{⑦⑤}、自国の文化を世界の人々に正しく理解してもらおうとする^{⑦⑥}努力を怠らせる^{⑦⑦}結果を招くことになった。これが、「一方交通の文化」と言われるゆえん^{⑦⑧}である。

注 釋

① 一方交通の文化 「一方」，在这里是「片面」「单方面」的意思。整个意思是「（在文化交流中）有来无往

的（日本）文化」。

- ② 神田の本屋街 「神田」，地名，在东京都千代田区。「本屋」是「书店」的意思。「本屋街」是「书店集中的市区」。

- ③ ……を 这里的「を」是补格助词，表示动作经过的场所。

- ④ ……目にする 词组，意思是「看到」。

- ⑤ ある……连体词，相当汉语的「某…」「有的…」。例如「ある人」（某人）；「ある日」（有一天）。

- ⑥ ……通りかかると 「通りかかる」，五段自动词，意思是「将要路过」或「正在路过」。「と」是接续助词，意思是「…，则…」「…，就…」。

- ⑦ ……順 接尾词，意思是「按照…的先后顺序」。例如「番号順」（按照号码的顺序）；「五十音順」（按照假

- 名在五十音图上的顺序）。

- ⑧ ……日を追う 词组，意思是「逐日」，经常以「日を追って」的形式，作连用修饰语。

- ⑨ ……並べてある 「並べる」，下一段他动词，意思是「排列」「陈列」。「ある」，在这里是补助动词，接在「他

- 动词连用形十て」的后面，表示某种动作所遗留下来的状态。

- ⑩ ……五十册近い 意思是「接近五十本书」。「近い」的前面省略了格助词「に」。

- ⑪ ……すべて 副词，「都」「一概」的意思。

- ⑫ ……わけではなからう 「わけではない」，惯用型，意思是「并不是」。「なからう」是「ない」的推量式。

- ⑬ ……もっと 副词，意思是「更」。

- ⑭ ……少なくとも 副词，意思是「起码」「最小限度」。

- ⑮ ………と 这里的「と」，仍为格助词，表示动作进行中的状态，构成连用修饰语。

- ⑯ ……おびただしい 形容词，「很多」的意思。

①⑦ いかに読書を好むか 「いかに…か」，惯用型，意思是「多么…」。整个意思是「多么喜欢读书」。

①⑧ より正確に言えば 「より」在这里是副词，意思是「较为…」。整个意思是「较为正确地说来」，具有「换言之」的意思。

①⑨ 書物を通じて 「…を通じて」，惯用型，常作为连用修饰语，表示「通过」。整个意思是「通过书」。

②⑩ 大切にする 词组，意思是「爱护」「珍重」。

②⑪ ……ということを示す 「…という」，惯用型，意思是「这样的」，「示す」的主语是在本句句首的「…は」。

②② 注目しなければならないのは 「…なければならない」，惯用型，接在动词未然形的下面，表示「不…是不行的」等意。「の」是形式体言，可作「こと」解释。整个意思是「应该注意的事情是…」。

②③ かなりの割合 「かなり」的意思是「有相当的程度」。「割合」的意思是「在整体中所占的分量」。

②④ 思は「相当大的比重」。

②⑤ 並並ならぬ 词组，意思是「不寻常的」。

②⑥ 深さ 「さ」，接尾词，接在形容词，形容动词的词干的后面，使该词成为名词并具有性质、程度、状态等意。「深さ」的意思是「深度」「深」。

②⑦ 物語る 五段他动词，意思是「讲」「表明」。

②⑧ 思い出される 「思い出す」，五段他动词，意思是「想起来」。「…出す」，接尾词，接在动词连用形的后面，表示「起来」「开始」等意。「思い出される」是「思い出す」的被动式。

②⑨ 明治維新 日本近代史上划时代的资产阶级改革运动。一八六八年，倒幕派发动政变，推翻了幕府的统治。通过维新运动，日本走上了资本主义道路。

②⑩ ……的だ 接尾词，接在名词的下面构成形容动词，表示「有关…方面的」「具有…性质的」「在…状态中的」。

等意。

- ③⑩ 学問の世界を初めとして 「…を…初めとして」、慣用句，意思是「以…为开端」。整个意思是「以学问领域为开端」。

- ③⑪ その他 词组，「其他」的意思。

- ③⑫ 多くの人々に受け入れられていった 「多く」是形容词连用形作名词使用。「受け入れる」，下一段自动词，意思是「接受」，「受け入れられる」是「受け入れる」的被动式。「いく」，补助动词，接在「动词连用形＋て」的后面，表示由近及远，由现在继续开展下去等意。整个意思是「一直要为许多人所接受下去」。

- ③⑬ そして 接续词，意思是「于是」「而且」。

- ③⑭ かける 下一段他动词，在这里是「耗费」的意思。

- ③⑮ わずか半世紀も立たぬうちに 「わずか」，副词，「仅仅」的意思。「立つ」，在这里是「经过」的意思，「立たぬ」是「立つ」的否定式。「うち」在这里是「时间」的意思。整个意思是「在仅仅连半个世纪还没过去的时间内」。

- ③⑯ 見事に吸収してしまう 「見事に」是形容词「見事だ」的连用形，意思是「出色地」「漂亮地」。「しまう」，补助动词，接在「动词连用形＋て」的后面，表示「完了」。

- ③⑰ またたく間に 词组，意思是「转眼间」。

- ③⑱ それ 指前面的「水准」。

- ③⑲ あるいは 接续词。意思是「或者」。

- ④① 近づいていった 「近づく」的意思是「接近」。「いった」是「いく」的过去式，其解释可参阅本文注释③②。

- ④② かかる… 连体词，意思是「这样的…」。

④② それなりの下地 「それなり」，副词，在这里是「相应」的意思。「下地」是「基础」的意思。整个意思是「与之相适应的基础」。

④③ 江戸時代 一六〇三年至一八六七年，德川氏在江戸（现在的东京），建立封建政权统治日本的时期。

④④ 国学 指日本国学。通过研究日本古典作品，探讨日本固有的文化思想。兴于江戸时期。

④⑤ ……において 惯用型，意思是「在…」。例如「近い将来において」（在不久的将来），「大きさにおいて」（从大小上说来）。

④⑥ 数々の業績が見られる 「数々」是「许多」的意思。「見られる」是「見る」的被动式。整个意思是「出现许多成果」。

④⑦ 中でも 副词，「尤其是」的意思。

④⑧ 宣長 即「本居宣長」（一七三〇—一八〇二），江戸时期中叶的著名国学者，提倡尊皇。

④⑨ 古事記伝 《古事记》是日本最古的历史书。《古事记传》是《古事记》的注释书，计四十四卷，本居宣长著。

④⑩ 一七六四年前后起稿，一七九八年脱稿，一八二二年发刊，是日本国学的一部重要著作。

④⑪ いささか 副词，意思是「稍微」「一点」。

④⑫ 長崎を窓口に 「…を…に（する）」，惯用型，意思是「以…为…」，例如「雷鋒同志を手本にする」（以雷鋒同志为榜样）。「長崎」，在日本九州岛西岸，一五七一年开港后，曾长期为日本主要对外贸易港。整个意思是「以长崎为对外联系的处所」。

④⑬ 細細ながら 「細細」，副词，意思是「细微地」「勉强强强地」。「…ながら」，接续助词，有「纵然…，却…」的意思。整个意思是「纵然其势甚微，却…」。

④⑭ 輸入され続ける 「輸入される」是「輸入する」的被动式。「…続ける」，接尾词，接在动词连用形的后面，表示「继续」，例如「降り続ける」（继续下），「読み続ける」（继续读）。整个意思是「继续被输入」。

- ⑤4 これに加えて 「これ」指「西欧の近代科学」。整个意思是「除了西欧的现代科学外，还有」。
- ⑤5 そろばん 原义是「算盘」，在文中是「计算」的意思。
- ⑤6 端的だ 形容词，意思是「明显的」「直截了当地」。
- ⑤7 見逃せない 「見逃す」，五段他动词，意思是「漏看」「看时没有注意到」「放过」。
- ⑤8 こうした 词组，意思是「这样的」。
- ⑤9 無視し得ない 「得る」，下一段他动词，原义是「得到」，在这里是接尾词，接在动词连用形的后面，表示可能。「無視し得ない」是「無視し得る」的否定式，意思是「不可忽视」。
- ⑥0 ……とはいうものの 惯用型，意思是「话虽然这样讲，但……」「虽说……，却……」「ものの」，接续助词，表示确定的逆接条件。
- ⑥1 明治以後 「明治」是日本年号名称，「明治以後」指明治元年即一八六八年成立明治维新政府以后。
- ⑥2 ……さえ 提示助词，在这里的意思是「甚至……」。
- ⑥3 だが 接续词，「但是」的意思。
- ⑥4 なお 副词，在这里的意思是「仍旧」。
- ⑥5 かつて掲げた 「かつて」，副词，意思是「曾经」。「掲げる」，下一段他动词，在本文中是「高举」的意思。整个意思是「曾经高举过的」。
- ⑥6 追いつき追い越せ 「追いつく」，五段自动词，意思是「赶上」，这里是它的连用形中止用法。「追い越す」，五段他动词，意思是「超过」，这里是它的命令形。整个意思是「要赶超」。
- ⑥7 根強く生き残る 「根強い」，形容词，意思是「根深蒂固」。「生き残る」，五段自动词，意思是「幸存」。「根強く」是它的连用修饰语。
- ⑥8 ……に限らず 惯用型，意思是「不仅是……，还有……」「不仅限于……，都……」。例如「それは大人に限らず」

子どもでもできる。」(那不仅限于大人会,小孩也会。)

69 西欧いや欧米 「いや」,在这里用来连接上面的词语和下面进行更正或补充的词语。整个意思是「西欧、

不, (更正确地说来) 是欧美」。

70 目を向ける 词组,意思是「放眼」。

71 それ 在这里指「欧米」。

72 遅れをとるまいとする 「遅れをとる」,词组,意思是「落后于人」。「:まいとする」,惯用型,意思是

「不想」。

73 とり続けているようだ 「とり続ける」是五段他动词「とる」结合接尾词「続ける」的复合动词,意思是

「继续采取」。「ようだ」,比况助动词,表示「好象:似的」「象是:」「似乎是:」等意。

74 何事によらず 词组,意思是「凡事」「任何事情」。

75 細大漏らさず 词组,意思是「点滴不漏」。

76 :ようにする 惯用型,五段动词未然形的后面添上「うとする」,其他动词未然形的后面添上「ようとする」,表示「想要:」「将要:」等意。

77 みてよい 这里的下一段他动词「みる」,是「视为」「考虑为」的意思。「よい」(好)接在「动词连用形

十て」的后面,表示允许,「可以」等意。

78 :のみ 副助词,意思是「仅:」「唯有」。例如「来たのは彼のみだった」(只有他来了。)

79 追われる 下一段自动词,本来是「追う」的被动式。「:に追われる」的意思是「忙于」,例如「仕事に

追われる」(工作繁忙)。

80 受け身 意思是「被动」。

81 広めよう 「広める」,下一段他动词,意思是「扩展」。文意连接下面的「とする」,参照注释⑦6。

⑧ 理解してもらおうとする 「もらう」，原为五段他动词，「接受」的意思。作为补助动词，接在「动词连

用形＋て」的后面，表示接受某种恩惠。在这里实际带有「使别人……」的意思。「とする」是和上面的「広めよう」共用的。

⑨ 怠らせる 「怠る」，五段他动词，意思是「不积极」。「怠らせる」是「怠る」的使役式。

⑩ ゆえん 表示「原因」「理由」等意。

参考译文

来而无往的文化

这是走在神田的书店街时看到的情形。在走过一家书店的前面时，看到陈列窗内按发行日期陈列着新书。从陈列中可以看出，一天里新发行的书，最少也有二十种左右，多则接近五十种。新书不会全都陈列出来，实际发行的书，恐怕比这还要多。每一种书，少则印几百册，多则印几千册、几万册，书的发行达到可观的数量。

这件事说明，学生、一般社会上的人直到专家学者多么爱好读书，更确切地说，多么重视通过书本获得的知识 and 情报。这里还应该注意，在数量庞大的出版物中，翻译过来的书占有相当大的比重，这说明对外国的，尤其是欧美的学术和文化具有异乎寻常的

关心。

这就令人想起，有人认为日本文化是「来而无往的文化」这句话来。

明治维新以后，开始出现积极翻译西欧文献的工作，在学术领域以及文学和其他领域的成果为许多人所接受。而且，西欧社会用了一百年、一百五十年才完成的近代科学成果，日本在短短不到半个世纪的期间，就出色地吸收了进来，在短时间内，许多学术领域达到或接近了欧美的水平。

这样的快速进展成为可能，毫无疑问，有其相应的基础。江户时期，在日本国学的领域中，已经出现不少成果。其中，本居宣长的《古事记传》等，与现代的科学方法相比，在方法上毫无逊色。并且以长崎为对外联系的门户，西欧的近代科学，虽然数量不多，却从荷兰源源引进日本。再加上以「读、写、算」这句话简要表示出的平民教育的普及，也是不可忽略的。

虽说不能忽视这样的基础，但明治维新以后的学术开展，却是惊人的。有的领域甚至已经达到了世界最高水平。但是，看来，从前提倡过的「赶超」口号现在仍然根深蒂固地存留在我们的思想意识之中，不仅限于学术，在许多领域中还都不断地将眼光投向西欧——不，应该说是欧美，注意其动向，继续采取不要落后于他人的姿态。可以认

为，这种对新情报，事无巨细，都要一概吸取的意愿，表现为翻译书充斥市场的现象。

片面追求吸取欧美的学术文化，采取被动姿态，其结果是放松了积极向海外推广本国学术成果，不去努力让全世界的人们正确理解日本文化。这就是日本文化称为「来而无往的文化」的原因。

杨寿聘 译注

言葉の变化

今までに①なかったもの②が一つ作られる③と、それを表すための言葉が一つ増える。空を飛ぶ乗り物が発明され④て、「飛行機」という言葉が新しく生まれたの⑤などは、その例だ。逆に、今まであったものが全く使われなくなると⑥、それを表すための言葉も、忘れられて消えていく⑦。水素ガスなどで⑧空にうかび、ゆつくりと人を運んだ乗り物は、「飛行船」と呼ばれたが⑨、スピード時代になってめったに使われなくなり、それとともに⑩「飛行船」という言葉も忘れられようとしている⑪。言葉は、それが表すものとともに生まれたり消えたりする⑫。ものを表す言葉ばかり⑬ではない。おもしろおかしい言い回しは、人の好みに応じて、あつという間にはやり、あつという間に消え去っていく。いわゆる流行語だ。つい⑭この間は、やったと思つた流行語が、すぐにすたれてしまう例を、だれでもたくさん知っているだろう⑮。

それなら、むかしからあるもので、なくなったりはやつたりすること⑯のないもの